

令和3年度 自己評価結果

日本こども福祉専門学校

評価項目	評価者
1. 学校の教育目標	学校長
2. 学校運営	学校長
3. 教育活動（こども保育学科）	こども保育学科長
3. 教育活動（くすり総合学科）	くすり総合学科長
4. 学修成果（こども保育学科）	こども保育学科長
4. 学修成果（くすり総合学科）	くすり総合学科長
5. 学生支援（こども保育学科）	こども保育学科長
5. 学生支援（くすり総合学科）	くすり総合学科長
6. 教育環境	事務局長
7. 学生の受入れ・募集	事務局長
8. 財務	事務局長
9. 法令等の遵守	事務局長
10. 社会貢献・地域貢献（こども保育学科）	こども保育学科長
10. 社会貢献・地域貢献（くすり総合学科）	くすり総合学科長

1. 学校の教育目標

(1) 自己評価

	自己評価	結果
1	学校の理念・目的・育成人材像は定められているか	3
2	学校における職業教育の特色は何か	4
3	社会のニーズ等を踏まえた学校の将来構想を抱いているか	3
4	学校の理念・目的・育成人材像・特色・将来構想などが学生・保護者に周知がなされているか	2
5	各学科の教育目標、育成人材像は学科等に対応する業界のニーズに向けて方向づけられているか	4

適切・・・4、ほぼ適切・・・3、やや不適切・・・2、不適切・・・1

(2) 現状

- ・学校の理念・目的・育成人材像の議論が不足している。
- ・則行現場との情報交換の機会が確保されている。また、教育の動向についても早めにキャッチし5年後を見据えた対応ができています。構想の明文化ができていない。

(3) 今後の課題等

- ・「新時代に対応した高等学校教育の在り方」に合わせて、スクールミッション・スクールポリシーを整備したい。

2. 学校運営

(1) 自己評価

	自己評価	結果
1	目的等に沿った運営方針が策定されているか	4
2	運営方針に沿った事業計画が策定されているか	4
3	運営組織や意思決定機能は規則等において明確化されているか、有効に機能しているか	4
4	人事、給与に関する規定等は整備されているか	4
5	教務・財務等の組織整備など意思決定システムは整備されているか	4
6	業界や地域社会等に対するコンプライアンス体制が整備されているか	4
7	教育活動等に関する情報公開が適切になされているか	4
8	情報システム化等による業務の効率化が図られているか	4

適切・・・4、ほぼ適切・・・3、やや不適切・・・2、不適切・・・1

(2) 現状

- ・運営方針の学校全体と各学科の連動がない。ただし、連動することが良いとは限らない。
- ・会議フォーマットの作成などしつつ、柔軟な対応ができています。

(3) 今後の課題等

- ・目的等に沿った運営方針の策定について、目的の解釈や運営方針が現場でどのように作用するか議論が必要。

3. 教育活動（保育）

（1）自己評価

	自己評価	結果
1	教育理念などに沿った教育課程の編成・実施方策などが策定されているか	4
2	教育理念、育成人材象や業界のニーズを踏まえた学科の修業年限に対応した教育到達レベルや学習時間の確保は明確にされているか	4
3	学科等のカリキュラムは体系的に編成されているか	4
4	キャリア教育・実践的な職業教育の視点に立ったカリキュラムや教育方法の工夫・開発などが実施されているか	4
5	関連分野の企業・関係施設等や業界団体等との連携により、カリキュラムの作成、見直し等が実施されているか	4
6	関連分野における実践的な職業教育が体系的に位置づけられているか	4
7	授業評価の実施・評価体制はあるか	4
8	職業教育に対する外部関係者からの評価を取り入れているか	4
9	成績評価・単位認定、進級・卒業判定の基準は明確になっているか	4
10	資格取得等に関する指導体制、カリキュラムの中での体系的な位置づけはあるか	4
11	人材育成目標の達成に向け授業を行うことが出来る要件を備えた教員を確保しているか	4
12	関連分野における業界等との連携に置いて優れた教員を確保するなどマネジメントが行われているか	4
13	関連分野における先端的な知識・技能等を習得するための研修や教員の指導力の育成など資質向上のための取組が行われているか	3
14	職員の能力開発のための研修などが行われているか	4

適切・・・4、ほぼ適切・・・3、やや不適切・・・2、不適切・・・1

(2) 現状

- ・業界関係者を非常勤講師として迎え、関連分野の先端的な知識・技能等を身に付けることができている。また、各教員がそれぞれの専門分野の研修に参加している。

(3) 今後の課題等

- ・職員の資質向上のための取組として、今後も積極的に研修への参加を促すとともに、学科・学校として環境（予算、授業調整など）を整えていくことも必要である。

3. 教育活動（くすり）

（1）自己評価

	自己評価	結果
1	教育理念などに沿った教育課程の編成・実施方策などが策定されているか	4
2	教育理念、育成人材象や業界のニーズを踏まえた学科の修業年限に対応した教育到達レベルや学習時間の確保は明確にされているか	4
3	学科等のカリキュラムは体系的に編成されているか	4
4	キャリア教育・実践的な職業教育の視点に立ったカリキュラムや教育方法の工夫・開発などが実施されているか	4
5	関連分野の企業・関係施設等や業界団体等との連携により、カリキュラムの作成、見直し等が実施されているか	4
6	関連分野における実践的な職業教育が体系的に位置づけられているか	4
7	授業評価の実施・評価体制はあるか	3
8	職業教育に対する外部関係者からの評価を取り入れているか	4
9	成績評価・単位認定、進級・卒業判定の基準は明確になっているか	4
10	資格取得等に関する指導体制、カリキュラムの中での体系的な位置づけはあるか	4
11	人材育成目標の達成に向け授業を行うことが出来る要件を備えた教員を確保しているか	4
12	関連分野における業界等との連携に置いて優れた教員を確保するなどマネジメントが行われているか	4
13	関連分野における先端的な知識・技能等を習得するための研修や教員の指導力の育成など資質向上のための取組が行われているか	4
14	職員の能力開発のための研修などが行われているか	4

適切・・・4、ほぼ適切・・・3、やや不適切・・・2、不適切・・・1

(2) 現状

- ・授業評価については口頭での実施のみ。

(3) 今後の課題等

- ・授業評価のフォーマットを作り、定期的に実施する。

4. 学修成果（保育）

（1）自己評価

	自己評価	結果
1	就職率の向上が図られているか	4
2	資格取得率の向上が図られているか	4
3	退学率の低減が図られているか	3
4	卒業生・在校生の社会的な活躍及び評価を把握しているか	3
5	卒業後のキャリア形成への効果を把握し学校の教育活動の改善に活用されているか	4

適切・・・4、ほぼ適切・・・3、やや不適切・・・2、不適切・・・1

（2）現状

- ・退学率低減のため、学生・保護者との面談等を積極的に行うなど、可能な限りの支援体制をとって退学者の低減に努めているが、退学率は0%ではない。
- ・卒業生・在校生の社会的な活躍及び評価について、動向を把握している卒業生と把握していない卒業生がいる。

（3）今後の課題等

- ・相談体制・支援体制を充実させ、退学率が0%になるように対応する必要がある。
- ・卒業生の就労状況(活躍や継続)を把握・調査し、卒業生への支援体制を充実させる。

4. 学修成果（くすり）

（1）自己評価

	自己評価	結果
1	就職率の向上が図られているか	4
2	資格取得率の向上が図られているか	4
3	退学率の低減が図られているか	3
4	卒業生・在校生の社会的な活躍及び評価を把握しているか	4
5	卒業後のキャリア形成への効果を把握し学校の教育活動の改善に活用されているか	4

適切・・・4、ほぼ適切・・・3、やや不適切・・・2、不適切・・・1

（2）現状

- ・2名の退学者が発生した。

（3）今後の課題等

- ・毎月学生との1on1を実施し、学生の気持ちや考えを把握したうえで、学生の居場所を確保していきたい。また、キャリア支援を充実することにより退学者をなくしていきたい。

5. 学生支援（保育）

（1）自己評価

	自己評価	結果
1	進路・就職に関する支援体制は整備されているか	4
2	学生相談に関する体制は整備されているか	4
3	学生に対する経済的な支援体制は整備されているか	4
4	学生の健康管理を担う組織体制はあるか	4
5	課外活動に対する支援体制は整備されているか	4
6	学生の生活環境への支援は行われているか	4
7	保護者と適切に連携しているか	4
8	卒業生への支援体制はあるか	3
9	社会人のニーズを踏まえた教育環境が整備されているか	4
10	高校・高等専修学校との連携によるキャリア教育・職業教育の取組が行われているか	4
11	関連分野における業界との連携による卒後の再教育プログラム等が行なわれているか	3

適切・・・4、ほぼ適切・・・3、やや不適切・・・2、不適切・・・1

（2）現状

・卒業生への支援体制・再教育プログラム等は必要に応じて個別に行われている。

（3）今後の課題等

・学科・学校で体制づくりをし、充実させていく必要がある。

5. 学生支援（くすり）

（1）自己評価

	自己評価	結果
1	進路・就職に関する支援体制は整備されているか	4
2	学生相談に関する体制は整備されているか	4
3	学生に対する経済的な支援体制は整備されているか	4
4	学生の健康管理を担う組織体制はあるか	4
5	課外活動に対する支援体制は整備されているか	4
6	学生の生活環境への支援は行われているか	4
7	保護者と適切に連携しているか	4
8	卒業生への支援体制はあるか	4
9	社会人のニーズを踏まえた教育環境が整備されているか	4
10	高校・高等専修学校との連携によるキャリア教育・職業教育の取組が行われているか	4
11	関連分野における業界との連携による卒後の再教育プログラム等が行なわれているか	3

適切・・・4、ほぼ適切・・・3、やや不適切・・・2、不適切・・・1

（2）現状

- ・定期的に保護者懇談会と保護者面談を行っている。また、必要な学生に関しては、保護者と連絡を取り、連携して学生をサポートしている。
- ・関連分野における業界内での教育プログラムが確立されているため、連携は行っていない。

（3）今後の課題等

- ・業界内での教育プログラム以外に学校での再教育プログラムが必要か検討したい。

6. 教育環境

(1) 自己評価

	自己評価	結果
1	施設・設備は、教育上の必要性に十分対応できるよう整備されているか	4
2	学内外の実習施設、インターンシップ、海外研修等について十分な教育体制を整備しているか	4
3	防災に対する体制は整備されているか	4

適切・・・4、ほぼ適切・・・3、やや不適切・・・2、不適切・・・1

(2) 現状

・適切に行なっている。

(3) 今後の課題等

・特になし。

7. 学生の受入れ・募集

(1) 自己評価

	自己評価	結果
1	高等学校等接続する機関に対する情報提供等の取り組みが行なわれているか	4
2	学生募集活動は適正に行われているか	3
3	学生募集活動において、資格取得・就職状況等の情報は正確に伝えられているか	4
4	学生納付金は妥当なものとなっているか	4

適切・・・4、ほぼ適切・・・3、やや不適切・・・2、不適切・・・1

(2) 現状

・適切に行っている。

(3) 今後の課題等

・特になし。

8. 財務

(1) 自己評価

	自己評価	結果
1	中長期的に学校の財務基盤は安定しているといえるか	4
2	予算・収支計画は有効かつ妥当なものとなっているか	4
3	財務について会計監査が適正に行われているか	4
4	財務情報公開の体制整備はできているか	4

適切・・・4、ほぼ適切・・・3、やや不適切・・・2、不適切・・・1

(2) 現状

・適切に行っている。

(3) 今後の課題等

・特になし。

9. 法令等の遵守

(1) 自己評価

	自己評価	結果
1	法令、専門学校設置基準等の遵守と適正な運営がなされているか	4
2	個人情報に対し、その保護のための対策がとられているか	4
3	自己評価の実施と問題点の改善を行っているか	4
4	自己評価結果を公開しているか	4

適切・・・4、ほぼ適切・・・3、やや不適切・・・2、不適切・・・1

(2) 現状

・適切に行っている。

(3) 今後の課題等

・特になし。

10. 社会貢献・地域貢献（保育）

（1）自己評価

	自己評価	結果
1	学校の教育資源や施設を利用した社会貢献・地域貢献を行っているか	4
2	学生のボランティア活動を奨励、支援しているか	4
3	地域に対する公開講座・教育訓練の受託等を積極的に実施しているか	3

適切・・・4、ほぼ適切・・・3、やや不適切・・・2、不適切・・・1

（2）現状

・教育訓練は実施しているが、公開講座は実施していない。

（3）今後の課題等

・地域に対する公開講座として、教員の持っている知識や技能を資源として活用していく。

10. 社会貢献・地域貢献（くすり）

（1）自己評価

	自己評価	結果
1	学校の教育資源や施設を利用した社会貢献・地域貢献を行っているか	4
2	学生のボランティア活動を奨励、支援しているか	4
3	地域に対する公開講座・教育訓練の受託等を積極的に実施しているか	3

適切・・・4、ほぼ適切・・・3、やや不適切・・・2、不適切・・・1

（2）現状

・公開講座は実施していない。

（3）今後の課題等

・公開講座を今後検討していきたい。